

編集方針

本報告書は、九電グループの中長期的なビジョン・戦略や主要施策等を一貫性ある統合化したストーリーとしてご報告するものです。

4回目の発行となる今回は、企業価値向上モデルとマテリアリティ解決に向けた取組みのつながりを意識し、それらを軸とした構成で展開するとともに、社長をはじめとする経営層のメッセージや、従業員の声の充実により、更なるストーリー性の向上を図っています。

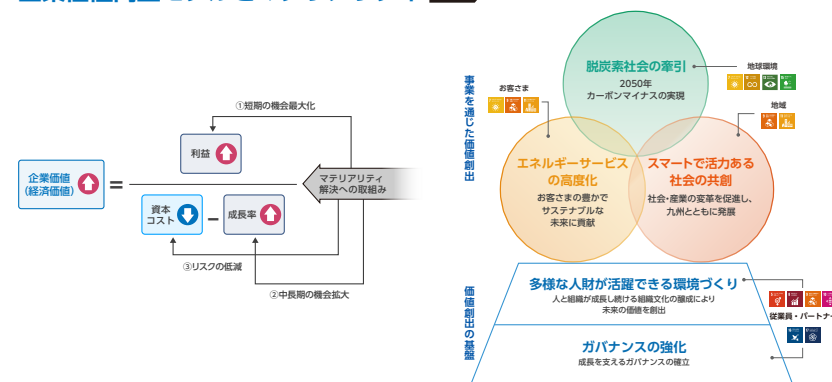
全体構成とポイント

今回の報告書では、冒頭の社長メッセージで九電グループ全体の方向性を語り、各事業トップがそれぞれの事業領域の現状と今後の目標・戦略を解説する構成は維持しつつ、企業価値向上モデルとマテリアリティを軸とする構成や、財務戦略（コーポレート戦略部門長メッセージ）の充実、人材活性化本部長メッセージの新規掲載など、読みやすさ・ストーリー性の更なる向上を図っています。

ポイント

- ・ **社長メッセージ**
 - 財務目標達成に対する自信や、最優先課題と位置付けるカーボンニュートラル、人的資本に関する取組みと展望について発信
- ・ **事業別トップメッセージ**
 - コーポレート戦略部門長メッセージにおいて、PBR改善に向けた取組みについて、財務・非財務両面から解説するとともに、事業別トップメッセージで各事業の現状分析と経営ビジョン達成に向けた目標・戦略を解説
- ・ **自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）の開示充実**
 - TNFDアーリーアダプターとして、再生可能エネルギーも対象に含めたTNFD v1.0情報開示フレームワーク等を踏まえた自然関連情報を開示
- ・ **人的資本経営に関する記載の充実**
 - 人材活性化本部長メッセージにおいて、人的資本経営の全体像とその考え方を発信するとともに、5つの「人材戦略の柱」を軸に、KGI達成に向けた各戦略の取組みを開示

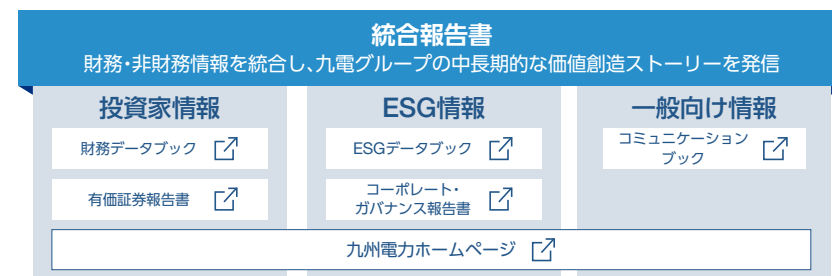
企業価値向上モデルとマテリアリティ P19



報告に関する情報

- 発行時期：2024年9月（次回：2025年9月予定）
- 報告範囲：九州電力株式会社及びグループ会社
- 報告期間：2023年4月1日～2024年3月31日
（現状に即した情報をご提供するため、一部対象期間外の情報も掲載しています。）
- 参考にしたガイドライン
 - ・ 国際統合報告フレームワーク
 - ・ 価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス
 - ・ 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）
 - ・ 自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）
 - ・ 米国サステナビリティ会計基準審議会（SASB）

【情報開示体系】



見通しに関する 注意事項

本報告書中で述べられている九電グループの戦略や見通しなど、将来の事項に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた九電グループの仮定及び判断に基づく将来の予想に関する記述であり、実際の結果を保証するものではありません。様々な不確実性により実際の業績、経営結果はこれらの記述とは異なる可能性があります。株主・投資家の皆さまにおかれましては、本報告書に含まれます将来の見通しのみを根拠として投資判断をすることに対しては十分ご注意ください。お願い申し上げます。